

制作費

一歳になりました。



まゆげ大です。



今だに
片想い中



このあまつきで
単行本が通算
20冊になりました



漫画家になる前に
個人的に目標にしていた
冊数だったります

あまつきのお話は
まだ続いて
おりますが



あまつき
この一冊で
ある目標点は
クリアした気分です
これだけの期間
続くと……

そう言えば
知り合いの中学生が
あまつき
今年で大学生
なんだってー！

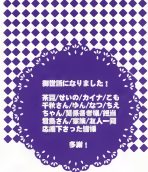
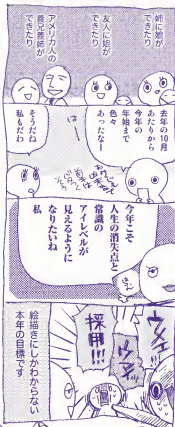


「中学生から大人になるまで
読んでいたマンガと読むのは
私にもあるのですが
自分の作品が
そういうものだ
なっている」
思うとなんだか
不思議です
こんなにも
長い期間
ずっと
読んで下さった
皆様には
本当に感謝です



今後もよろしくお付き合いします！

新しい年になりました。



最近の悩み事

ツイッターも
ホムペーシも
10月あたり
から
更新できま
いない。友人間



一度はなんと開帳書まで... 520



See you next time!

COMMENT



高山しのぶ

SHINOBU TAKAYAMA

2012年初単行本で
通算20冊目の単行本です。
去年後半は私事で慌しかったので、
今年はじっくり
頑張っていくつもりです。
本年もよろしく願います！

高山しのぶ

SHINOBU TAKAYAMA



おまじき 14

あまつき 14 高山しのぶ

エロロ
一迅社



9784758056830



1929979005528

ISBN978-4-7580-5683-0

C9979 ¥552E

雑誌 50668-54

定価：本体552円＋税

一迅社



TEBO-SUM COMICS 既刊好評発売中

A5刊

クロバーの機のアリス 全1巻
クロバーの機のアリス 全1巻
索星裏 全2巻
ストレンジ・プラス 全1巻
WILD ADAPTER 全10巻
機遊記RELOAD 全9巻
機遊記 全4巻

B6刊

CHRONOS-DEEP 全2巻
アルオスメンテ 全2巻
オリンボス 全2巻
07-GHOST 全2巻
執事に国境なんて 全2巻
コーセルデルの電匠士〜子電機〜 全2巻
緑の罫 全2巻
破天荒遊戯 Landreal 全2巻
Are you Alice? 全2巻
オムメダイ 全2巻
魔法使いの猫 全2巻
ボクラノキセキ ノッキン! 全2巻
佐藤くんと田中さん 全2巻
LOVELESS 全2巻
ハロウィン+タウンParty 全2巻
アニメ店長 全2巻
天球儀 セフィラノーツ 全2巻
ハイガクラ 全2巻
あまつさ 全2巻
MR. MORNING 全2巻
千歳ヲコチ 全2巻
A-presto〜ア・プレスト〜 全2巻
鉄舌智 DOLLS 全2巻
暗黒 全2巻
ジョーカーの機のアリス 全2巻
グリオットの機り姫 全2巻
機とフルサトレストラム 全2巻
TRAMP 全2巻
理系男子〜ぼくらの理系〜 全2巻
ハヤブサ 全2巻
いっしょにがんば。 全2巻
カーニバル 全2巻
BUS GAMER 全2巻
拝み屋横丁 全2巻
魔界王子 devils and realist 全2巻
+C sword and cornet 全2巻
虎城サークル 全2巻



**AMA
TAKUKI**
14
SHINGU
TAKAYAMA

あまつき 14

Contents



Bonten

第八十一夜

大荒木の森

5

Tokidoki



第八十二夜

病葉地獄

29

第八十三夜

森の奇解

53



Tsuyukusa

第八十四夜

木隠れ木森

77

Kanako



第八十五夜

みどり森

103

第八十六夜

八重森

125



Kuchihya

第八十七夜

ここに芽をふく忘草

149

あまつる

14

高山しのぶ



人物紹介



「この道が天徳寺の別荘で、あまつぎに来たばかりの通時を助けた。白兎である重草の主。今は夜行の間に捕らわれている。」



空五色子一驚天によって、鉄の力など様々なものを妖術の術に詰め込んで作られた妖。情時を返った時に、ヒビが入っていた面が割れてしまい、



六倉禮晴：柔軟な性格の高校生。帝天の定めた運命2天網を断つ力を持つ。「白紙の書」でもある。結末の記憶を見せてもらいこの世界の成り立ちを知った。



「第一、天と井は白銀の國で
られた悪妖、白銀を盗んだ人
間を憎んでいるが、妖を助け
てくれた蘭助には情いがある」

天、地の間の存在、大いなる
 間を繋ぐ力を持っていたが、
 帝天に与らされた力、奪われ
 た。結果、大地を繋ぐ



誰ノ女組……こちらに連れ込んだ、蘭崎の同級生。初代「白蛇の者」だったが、天降に記憶を書き換えられ、その記憶はない。

最先施のCは技術で江戸の町を再現した。江戸幕末風回復。そこを訪れた國時は、蚊・蚤・糞と闘はねわれ、幕末の江戸に良く似た異世界に迷い込んでしまった。

Figure 1

白紙の者の力故に、密天と戦う妖と人の両方から助力を求められた清時は、どちらも逃げないことを決めた。その結果、魔力で密天に挑んだ銀朱は、存在を消し換えられ、今までに聞かされた人々の記憶までも書き換へられてしまう。

憤った清時は、密天に対抗すべく奔走し、人と妖との間に潜る。しかしその矢先、密天の行と配下の妖——中には夜行に操られた、陰陽家の仲間で白紙の体もあった——に襲われ、柘葉・真朱一本身の銀朱の体が夜行の腕にさらされてしまう。さらに、密天の怒りに触れた梵天は、加護を失いたたけの妖に反逆してしまった。

清時は諦めず、仲間達を助ける術を探り力を貯める。そんな折、将軍のいる江戸城・天文閣が闇に包まれ、彼等は急ぎ江戸城に乗り込んでみた。しかし、敵の妖の設計によって、陰陽家達と、天降連は別行動になってしまいます。そして、時を敵の攻撃から逃れた空五郎子は……。



第八十一夜
大荒木の森









一体なんで
こんなこと
が

おろろろ

落ち腐け
馬鹿者

他に支障は？

…特に
痛みはない
のである

—そうか



…我がもう一体
いるのである

…雙天？
これも
僕の仇物？





半さん!!







帝天があまつぎを
移せる上にて――



不利甚き者は

最弱べき存在に
堕とされ……



ちよつと待って……

じゃあ

帝天

俺や誰だけでなく
徳岸の人間が
あまつぎには
沢山いるのか？

つていうか奴は
徳岸の人間なのか？



だから

俺と科学とか彼岸の知識の
脳ができたのか



お前も元は
彼岸の人間で

たまたま彼岸の記憶が
残ってるとか思い出したとかで…



ああ

じゃあもしかして
紙だけじゃなくて

しるし

帝天にとって
不利益じゃない
彼岸の人間もいて
その人達は

俺のものになる
ってことか

なら

あまつぎの住人は人も妖も
皆元々は彼岸の人間なのか？



おまづき「国は強いていんなあ」

この世界の成り立ち

あまつきの住人は、彼等の住人々

そうじゃない人もいる
つてことか

あまつきに彼等の人間が紛れている？

帝天は彼等の人々を

共にできるのか？

でつてそれならどうするんだろ

なるそれはなんで？

口で言え表示せないのは
知天が「口で言えない」をやる事で
今俺が食ひ込んでゐるからだ



あまつぎって…
彼岸のなんなんだ!!









だからアレと一緒に
妖怪やっていた時のことも
全部覚えてる

いつていうか
今も夢なのか？

夢って自覚して見ても夢か？

明晰夢

未来さんの夢の中で
は怖くないか！

ベもぶっ

ズド

いっ

てえよ
ハカカ

何なの

ええ

つまり
夢でも
幻でも
ないんです









アッ...



おかしいだらう？

あれ...？

なんだそこ
無常の道の先は
羅城門の
はずなのに...





まっ



江戸城内に入られたのでは？

いえ、江戸城内に入ってきたのは



化物道が
瘴気で登んで
無がつたんだろ



江戸城内の瘴気は元々
化物道から溢れて
表の世に出てきたものだ

化物道とは
入口も出口も曖昧な
妖の道のこと

その内部が
どこどころ
無がつたとて

不思議ではないさ

……ってことは
ここも化物道の
申つてこと!?

あ……いえ
正確には……
化物道から少し離れた
場所の森の一角です

佐々木さんに
教えて
あげないと
かな?

陰陽寮の
人達もこういう
別の入り口
探してるんだよね?

今はそれどころ
ではありません!!

え

???

黒軍さんか……!!

……つづつばかりか

つづつ
黒軍!!



はは

最期に

もう一回

顔が見れるとは
思ってたから



第八十二夜
病葉地獄







おんやア
誰ぞオ



——じゃああの
黒く汚れた木が！



木体だ





ああいった紙が何体も
化境道のあちこちにおいて
もやを盛ってるんです！

通常の攻撃で
倒すこともできますが
少しでも触れると
人も蟲がにじむように
体が染まり――

あんなのが
何体も……！

……こーなっちゃう
ってわけだ

もやに溶けちゃうのも
時間の問題だな

お前ら

すみません
――つーが

私達の
力不足で
……つーが

別動隊の
襲撃班が
失敗して

その道筋を
切り開くために
割って入って下さって……

待てよ

まるで俺が
呼んで人間を
助けたみてーじゃ
ねえか

お前らが
固まって俺ン所に
来るから

相手にした
だけだ

ここには
コレがあったからな

土足で要らされたく
なかったんだ





やわくもろい本は
倒せ月 倒せ月
苗床だ

小枝ボツキリ
大枝ボツキリ

卵を産みつけ
喰い散らせ月
喰い散らせ月

涙はふつとりと
はげだらけ

殺れよのヲ

う小小小小



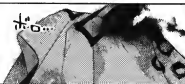














もう結れてる



ふり川

そ そんな
まだ機の方は
ちゃんと立ってるし

結れてなんか...







お前があ
この森に
居座らせてエ

お前がアために
森に入り込みイ

私達アもうすでに
この森と同化したア

森のオ記憶は
感をつかないよオ

結果ア

白蛇がア
死んだじゃ
ないかあ

森から
切り離された
身ってものは

そんな記憶すら
保てないのかイ



黙れ

寂れな
木偶だ
イ







紅さん
空豆信子さん
もう少しそいつの
相手しててッ



誰ッ!?
お前...



ケッ!!



誰ッ
上落かして

梵天ッ
符の書と方較えろッ



俺が書き直せば
どーにかなるかも
だろッ

地面にでもいから
見本書いてくれ!!
真似して歩くから!!

あゝ
あゝ

第八十三夜 森の告解





クッ





一人で何もかも
知った願して
俺にや何も言わねえで！！

お前はそれでいいかも
しれねえが
俺はどうなる！！

そんなもん
俺はただの
進化しやねえか！！

俺だって
俺を守る力
くらいはある!!

お前にゃ
物足りねえ調子だろんが
考えることは
できるんだよ!!

お前はそれで
俺を…守ってる
つもりだろうが

同じくらい
俺を罵倒し
してんだ…!!



俺が…

少しでもお前の
隠していることが
わかれれば…

俺だって



言葉…











符が消えて
人型が保持
できなくなった
か……

なっ！



大丈夫だ！

將軍！

お前！



じゃあ
將軍は……

そんな



精、俺ハ元ノ体ニ戻ッタ

トイフことハ
俺はもう
ただの樹妖

樹妖なら

大丈夫だ



あ



樹妖を
助けたら

將軍の命だよ

まだ助けた
ばかりの樹妖だ



神木を
すばいいのか
……!!



キュイツ

シノためにも

あいつを倒さぬエトナ



ニははう

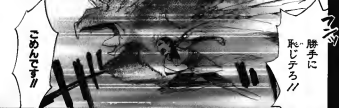


神木に
何が
できるのか













「……
……」

「……
……」

「や……やった」押してきてる」
「重……重……」







決して話をしてはいけないう







ああ

そうか



お前の驚かし
結構ってそんな
真いのかな

オレはさあへ
この世で一番
きれいす
顔をみたくて
やっさいの



この世で一番は可愛くな



じゃあ
会わせて
やるよ!!



ええーや
うてなす

本陣だか

オレはアム
ー





なんなあいうも…が
しかも其手を
捜してんのか？



おれん…
おれんは…

おれんは…
おれんは…

おれんは…
おれんは…



おれん…
おれんは…

おれんは…
おれんは…



大娘一匹
仕舞めましたか？



おれんは…
おれんは…



おれんは…
おれんは…

おれんは…
おれんは…

おれんは…
おれんは…



おれんは…
おれんは…

そうか

あの方キてめえらの仲間だったのか

あんなに

あの方々へおまかせの
仲間だったのが

きつとつかで
食われてんじや
ねーの？

お前らなんて

ごめん白熊

きつとつがて
食われてんじや
ねーの？

お前らなんや

つてくるぞが

「うぐっ、手紙！」

「いや、好きだ。」

「油断するな、そいつもまた襲ってくるぞッ」



きっ
かけは俺か



びやうろく
白緑に喰われさまえ!!



ガッ……ッ



やめろ——!!



八十四夜 木隠れ木守





目

目線がしめやかについていた



唇は乾えていたけれど



目



その視線はいくたび



目



目線がしめやかについていた



目



目



通くは力の賜で分力ち合えなかつた



小島だ



誰のことか
知らんてない

白髪
いつちもわわわ
わわわーっなり



主殿なんて
俺知らねーもんか

お前のことも
大事だよ

雪草

お前は主殿の
苗木だもの



誰のことか
大事じゃないか

お前がいずれ
大きくなつて
校と校を
森と森まで

ひとつになれば
すぐわかる

この森はお前のもの

この森の意志は
お前のもの

この森に生かされるものは
お前のもの

この森を育てる私も
お前のもの

私を助けたの
と申しなれ

お前は

全てを手に入れ
私を助ける
ものとなる

それに比べて

あの手は
いいわ

たった一羽で
覆えている

たった一羽

落ち小鳥の
羽は羽の羽

翼の翼を
翼の翼の羽

たった一羽

地にも空にも
おれぬのだ



実に憐れとは思わないか？

八十四夜 木隠れ木守

これで終わりだ!!

やめろオオオ





きです!!

囲め!!







白紙の方
数回の方

その折は
私の顔が
世に
なりました



その方達に恩がある者です



貴方は…

…今様の主かク



その通りです

新芽ゆえ
大きな力も
記憶も

ございませんが

全ては
今様より
聞き伝えられて
おります…



え何

でもあの時の
木は…

新芽が出て
生まれ直したん
だらう

押し木と同じだ

その恩義
今こそ返しま
しょうぞ!!

射て



卷

遊也

あ

あ

あ

あ

國軍糧が力の供給を断つて下さった奇



あゝして
射殺ければ力を
剛られ辱くして
いずれ死ぬでしよう

あ

あ

あ







神木として
育つための
空の囀り



っ
!!!

これでは用意
する時間が――



な……!!



…何か

何か…?

そんな――

何かやりようが――

――っ





なのに
俺は
都合よく
忘れて



俺は……

荒天を責めた



人間を責めた



俺は……



そんなこと今は
どうでもいい!!



お前は



これ以上...!!
俺を一人にする
つもりか!!

あつた

越にも
天にも

50

財政部公告

2008年10月 第10期

3084-4007

中江氏に就いて

張國強

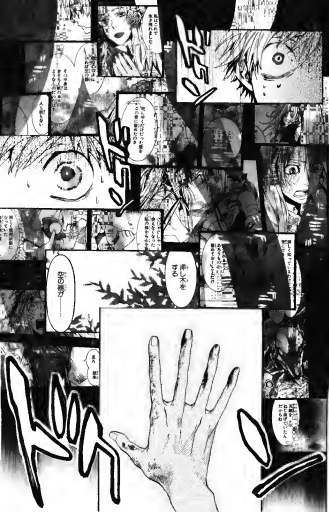


小鳥が風を
歌ってくれるよ——



ごめん





器うつわなら

心こころもある





「私も、これで
生き残ることに」

「おれは、
おれが生き残る」



第八十五夜 みどり薬



「おれは、おれが
生き残る」

「おれは、おれが
生き残る」

「おれは、おれが
生き残る」



「おれは、
おれが生き
残る」

「おれは、
おれが生き
残る」

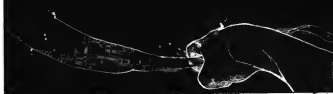
なら俺だって

できる



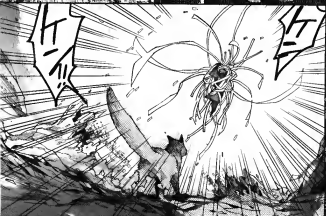


第八十五夜 みどり葉



なっ…!!?





黒幕……
六合、その手を
放せ!!
吞まれるぞ!!



やばい……
なんだこの

体は……
通じ……



あー
悪戯が/と
しますわ

ほら
頑張って
下さい



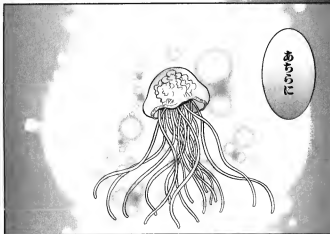
経験者が
お手伝い
しますから





そら
雷蔵さん

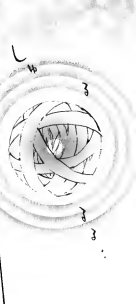
空の雷は
それじゃない



あちらに













おち方止めいッ



賑々我らの山を
荒らしてくれよつて!!

我が社も
こやつのせいだ...



ふん
力を削って
いってやれば
元はこの程度の
ヤスデだった
とは!!

もう力を
補充することも
できんようだな

暗が



ふ

何事無状だイ
いいかいイ

そもそもアノ方に
比べりゃ無難だ!!



だ
い

その

あの方と書うものについで少々詳しくお話を聞かせて下さい

ヒイッ

ハア人間
なんか

言うもんかい

お口が多いから
無駄口も多いのかしら

こそう

スッ

コレに

手留ってもらい
ましようね々

ヒッ

似た者同士……うしたら
顔もはすむでじようや

や
やあつ

蛇ですか

一つ目ですか

美女ですか

さやああああ

ヒッ











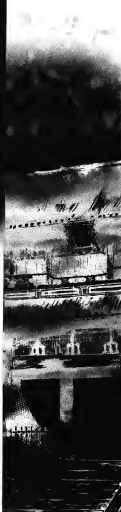
おれでし

//

引き連れ
笑う夜行を
通うは、きり

ヒヤッ

おれでし
//





つたぐとこ行ったんだ
あのガキヤ

急に走り
出しやがってノ

ぜー



いましたか?

いや

いぬよ



先程の天座の天狗も
同じように急に
走り出しましたよね!

そうだな! 我らには
何も見えなんだが



その動きを大きく
動揺させる幻か
何かで行動を
誘導しておるのかも
しれぬ

「天座」はまふまふと
術中にはまったわけだ



この先も
ずーっと同じ
一本道だ



……となると
これ以上の
深遠いは
私達とて
危険ですが

どーすんだよ

……一旦戻り
六金殿らの
掃りを待とう

これ以上の
分岐は危うい

——無事である二匹を
祈ろう……



なんなんだ

お前を
助けに
来たんだぞ

……

きこえたか

あの男で
ないよか

不審か……

あいつはお前
とって

なんなんだ

ならばお前にも

同じ問いをしよう

お前は
この子の

なんなのだろう





こいつからの眼を
隠く隠り……

各地の化物道から
湧き出し続けている
もやには

多数の妖が
潜み

どの妖もすでに
個々の意思で狂い
暴れ回っているようで



夜行を倒したからとて
この睡さが収まるわけでは
なさそうです

——となると
やはり陰陽寮は
引き続き化物道と
その周囲を警戒
しなければなりません

第八十六夜 八重葎



こっちはこっちで
なんとかするから――

外のこと
よろしくお願ひ
します



こちらの
路標には――

わかってるよ
ありがとう紅さん

大丈夫

むしろ外の方が人手不足
してるくらいじゃない？



第八十六夜

八重葎

—それで
だ

はい



コレはいつまで
こうしてれば
いいんだ

こら助かすなよ



天童よ



これにて我らは
我がが地に戻り
地の浄化にかかる

左行や阿其が
何をして
いるのかは
我らにはわからん
こと...



貴族らに
任せても
よいのだろうか

—ああ

どれだけのことが
できるかは
わからないけれどね



いや

地から助けぬ
我らには
それだけとて
ありがたい

もし駄目でも
あったとて

そうなるだけの
運命であったのよ

—運命...か







人と交じること

もしくは

そのままでは
生きること

どちらも
望んだから
そうになった

お主は
蘇^そ介^けしたに
過ぎぬ



なるほど

その後人間が
苦しんだのは
妖^{まじな}の意思では
ないかもしれん

妖^{まじな}の
許さぬ神が
強制力を
見せたのかも
しれぬ

だが生きた



曖昧な
生き物こそ

意思の力は
絶対だ

生きたがった者の
背を押したとて

苦しむ阿^あ呆^{ほう}が
どこにおる



どうでしょう

彼らは術技
ですから
また一試、通うのだ
とは思いますが

それでも

「先を行こうとする
重恩」の強さは
人間所有のもの
のように思いますが

自然と同じく

妖術は柔軟で
強かではあります

見切りも
早い

駄目だと思えば
諦めます

「その先の予感や
通ずるものが読めばいい」
と思えます

けれど人は

自分を諦めない

誰かが
やればいい
ではなく

自分がどうにか
できないかと思ふ

だから奇跡もある
運化もある

人のその貪欲さは
この世すら
喰らい尽くすかも
しれません

故に命運をも
変えうる







刑事……

原なじみの
刑事さんだよ



平太くんのこと
いまは解決
してないんだっ……

おはよう
おはよう

……



あれはお前が言う
あつちの世界の人間
なのか？

うん



……ということとは
やっぱり紺の体には
後序の記憶が
染み付いてるのかな？

いくら記憶を
入れ替えたって
体は紺のだし……



あ
わかん
ないかな

聞事って
いや……



なんが
聞く
ぞわぞわする
単語だから
説明は
いらねえ！！

……



なら銀太さんみたく
紺の「誰」の女との部分も

どっかに
あるのか？



……

それを聞いたら

この時は

「……
あんなに……」



お五郎さん
みたいで

二つの体で
一つの
意識のまま
片方が眠るのか



未来さんと
お泉さんの
みみ

片方の意識が
眠る
片方が眠るのか……



「……
あんなに……」

……







優等とか

保護のために
人を傷付けない
自分も傷付けない

そんな
盾みたいな
人間と真逆で

傷つけられる
怖さ

そういう人間には
近寄りたく
なかったんだ

傷付けられ
たくなかった
から

相手に傷付けられるし
その刃で自分をも
傷付ける

刃みたいな
人間もいる

まだ傷を癒えていない
心で傷つけられるのを
怖れる

こいつはその
「刃」側の人間
だなんて思った

でもそういう
人間じゃないと
人生切り開いて
いけないのは

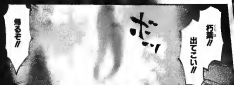
わかってた

僕もなかったん
だろうな

「僕」のその
「刃」を作る
強さが

僕はそんなの
怖くて
できなかったから

ある意味……
断絶してたの
かも













第八十七夜

ここに芽をふく

忘草 巻





大丈夫だよ
てめーらは
さっさと退け!

すぐ退いけくから!



ちよ麗華 よちよちよち
おほははは

やめろ ばかあああ

おーもう
買ったのか



この早きなら
すぐに元の大きさに
戻って進い付けろさ

安心して行ってくれ



しかし

進うにしても
目標が――

あ

俺がなんとなく
わかるから
大丈夫だぜ

え









我は如きよく
してやったのや

彼ではない



そもそも能力を
分断するのが
お前の業だったさ

それ正解だと
思ってるがあるや

あつ

さあ



天狗と黒
白猫す光が
実なる者

もろは神話なく
道も分けた



天狗は紅白
二つの人形を

黒は黒犬
三匹の供を



己が道を
進むが道

何故なるか





そう
知るなよ

そんなに急かさ
なくても すぐに
お前の許に行こう



それまで
大人しく
待っていてろ



スウ



それを知りたい



ゆかい



〜



今は気にしないのが一番だ

さっさと戻るよ



聖天?

あれは
想像みたいな
ものだ

悪平をしたって
意味がない



う
うん



















なるほど

跡をして困っている人々を治療して回っているとは……

素晴らしい御一行ですね

お恥ずかしい話です

いえ

ただ一所に屋の落ち着かぬ流れるで……

そちらの厄憎殿はお目を……

ええ

しかし御仏のご加護でありますように先生にお会いすることができ少し見えるようになりました

今はご恩返しをすべく……として旅に付き添わせて頂いております







感謝している

えっ
あっ

うん

なんだとした？

え
そのほら

普段そんな
風に言われ
ないから

なんか

照れる

いつも邪魔にされすぎていて
普通の礼にも動揺するか！

やべと直れ

可哀想

皮肉



えっ！

今までそんな
温かい絆を
結ばれた
お二人の縁を
記念して！
な、な〜んとノ
スペシャル
グッズが
発売しちゃうん
ですよお！



あれまあ
こそばゆい光景じゃ
ありませんか？

お二人が
仲良くなられて
本当によかった
ですね！ 惣次ノ



えー！！

アニメイトさんから
お二人の写真付き
イマージアリセサリーが
発売することになりました！
ええええ？
ほかにも描き下ろし
画像多数で、あまづきの
アニメイト新作グッズが
出ちゃうんです！



少しの自慢れも
許されぬ
主人公で大受好評を
博したらしい



詳細は
この巻に入っている
チラシを見てやって
下さいね！

ちょ
黒髪さん
黒髪さん！
俺その話
聞いてない
んですよ！



最近ちやほや
されてるから

暗転に暗転に
なったんじゃ
ないですか？



気を引き締めて鑑賞！
妙味もよましくお楽しみ！

うーん！
気持ちいいなあ
こほ

あの人は今夜

犬神様い
が
あもって
言つてたのに

犬神様いは
何もなく今夜
行われるさ

それにさっきの
ひとひとの
内事も気になもし

喧つてた
わけだし

さっきの船仕事さんは
権礼があるって

案内人と
この船屋の
見張りとは
知らせておいた

今のうちに
出るぞ

紐解かれるは

犬神様いは
ここに来る前に

先に仕事を
終わらせるんだって

朽葉と萱草の過去…？ それとも……

「犬神を表に出そうとしておるようだの」

狗の神よ

冥魂鎮めて
我らが言葉を聞け

子の体に宿りし
妖の神よ

我らが意に出て
その夢を醒せ

「その時 朽葉は?」

キリー……

キリー……

「宿主もただではすままい……」

朽……

あ

鶺鴒時は朽葉を——萱草を救えるのか!?

あまつき 15

2012年初秋
発売予定!!

166頁 定価580円(税別)



あまつぎ

14

2012年3月5日 初版発行

著者／高山しのぶ

発行者／杉野廣介

担当編集／君島彩子

発行所／株式会社一迅社

〒160-0022 東京都新宿区新宿2-8-10 成程ビルB

電話 03-5312-6851（編集部）

電話 03-5312-6150（営業部）

印刷・製本／大日本印刷株式会社

装幀／星野いづみ

本書のコピー、スキャン、デジタル化などの複製権限は、

著作権法上の例外を除き禁じられています。

本書を代行業者などの第三者に依頼してスキャンやデジタル化をすることは、
個人や館内での利用に限るものであっても著作権法上認められておりません。

落丁・乱丁本は株式会社一迅社販売部までお送りください。送料・小仕角料にてお取替えいたします。

定価はカバーに表示してあります。

ISBN978-4-7580-5883-0

©高山しのぶ／一迅社2012 Printed in JAPAN

14コミックス

※この作品はフィクションです。実際の人物・団体・事件などには関係ありません。